



11月22日(月)、本市は崎辺中学校出身で、東京2020オリンピック・ソフトボール競技日本代表の藤田 倭選手に「佐世保市市民栄誉賞」を授与しました。

「佐世保市市民栄誉賞」は、芸術、文化、スポーツなどの各分野において、市民に夢と希望を与え、郷土の誇りとして広く市民に敬愛される方に対し授与するもので、今回が4人目の受賞となります。

藤田選手は、同大会において日本代表の中心選手として投打の「二刀流」で活躍し、金メダル獲得に大きく貢献されました。また、大会 MVP に選出されるなど素晴らしい活躍をされたことから、今回授与することに決定しました。

表彰式で朝長市長は「藤田選手のオリンピックでの活躍は、ソフトボールのみならず、本市のスポーツ界全体に活力を与え、市民に大きな勇気と感動をもたらしました」とあいさつし、藤田選手は「オリンピックでは、金メダル以上に『仲間

や『頑張ること』の大切さを実感しました。いただいた市民栄誉賞に恥じないように、これからも精進していきます」と謝辞を述べました。

藤田選手、この度の「佐世保市市民栄誉賞」受賞、誠におめでとうございます。そして、大きな勇気と感動をありがとうございました。

【市民栄誉賞歴代受賞者(表彰年月日、当時の経歴など)】

- 城島健司氏(平成17年1月7日受彰、メジャーリーグ・シアトルマリナーズ所属)
- 井上博明氏(平成19年1月11日受彰、九州文化学園高校バレーボール部監督)
- 早川漣氏(平成24年8月29日受彰、長崎県スポーツ専門員・佐世保商業高校所属)

☎秘書課 ☎24-1111



## 大きな勇気と感動をありがとう 藤田倭選手に 「佐世保市市民栄誉賞」を授与しました



写真：アフロ



☎学校教育課 ☎24-1111

※藤田選手のサインボールは市役所2階市民税課前でご覧いただけます。

さまざまな質問が飛び、目標を達成するために必要なことを尋ねられると、藤田選手は「最後まで諦めない気持ちを持ち続けること。こつこつと努力することが大切です」と答えました。

また、子どもたちからの「実際にプロのボールを受けてみたい」との声に藤田選手は笑顔で応え、急ぎきヤッチボールが行われました。プロの投球を目の当たりにした子どもたちは藤田選手の投球する姿に目を輝かせ、球速が上がるにつれて「すごい」「かっこいい」といった驚きの声を上げていました。

他にも藤田選手がオリンピックで獲得した金メダルを全ての子どもたちに見せて回り、時折握手を交わす一幕などもあり、和やかに交流が行われました。

集会の最後には在校生から花束が贈られ、藤田選手は「きょうは母校の皆さんに会えてとてもうれしかったです。これからも楽しい学校生活を送れるように、今隣にいる友達や仲間を大切にしてください」と笑顔で締めくくりました。



藤田選手の母校で「夢や憧れを育む集会」を開催しました。

11月22日(月)、藤田選手の出身校である崎辺中学校は「ようこそ先輩プロジェクト『夢や憧れを育む集会』」を開催しました。

市民栄誉賞表彰式に先立ち開催された集会には、崎辺中学校の生徒218人と港小学校の6年生52人が参加し、久しぶりに母校を訪れた藤田選手は子どもたちから温かい拍手で迎えられました。

集会では子どもたちから競技を始め、たきっかけや部活動で学んだことなど